

京浜臨海部コンビナート高度化等検討会

「パイプライン等の連携・活用による原料、副生成物、未利用溜分の有効活用」

パイプライン有効活用等分科会

平成20年7月14日(月)

分科会参加企業

[メンバー]

新日本石油精製(株)、昭和シェル石油(株)、東亜石油(株)
昭和電工(株)、旭化成ケミカルズ(株)、
東燃ゼネラル石油(株)、東燃化学(株)

[オブザーバー]

神奈川県、川崎市

活動経緯と進捗状況

「パイプライン等の連携・活用による原料、副生成物、未利用溜分の有効活用」を目的として、本年3月以降、2回（3/5、6/19）の分科会を開催

経緯

1. 各社間の新たな連携スキームについて既存の制約にとらわれず、自由にアイデア出しを実施
2. 各社より出されたアイデア（14-15項目）をテーマ別に「参加希望会社」、「検討課題・制約要因」「行政への要望」等を整理したスクリーニング用マトリックスを作成
3. 同マトリックスに基づき、具体的な5つの検討テーマを分科会で決定→次ページ参照

PR活動

高度化検討会の目的、活動内容を京浜臨海部関係会社（6社）にPRし、参加を促してきた

今後分科会で検討する主要テーマ

(1) ナフサ関連

- ・ A社、B社/C社間のパイプラインの有効活用によるナフサ受入効率向上に関する検討

(2) 灯油関連

- ・ B社、D社によるA社ノルパラ装置向け原料用灯油の供給、及びA社ラフィネート灯油の受入に関する可能性を検討

(3) ブテン関連

- ・ D社で製造されるブテン留分のA社、B社による受入の可能性について払出/受入用インフラ等も含め検討

(4) 燃料関連

- ・ A, B, C社で余剰傾向にある液燃系のD社向け有効活用の検討

(5) 水素関連

- ・ 川崎地区での水素供給について、中長期的観点から相互協力の可能性を検討

今後の活動予定

- 現時点では(1)～(4)は、新日石精製、昭和シェル、東亜石油、東燃ゼネ/東燃化学4社合同で検討。
(5)は昭和電工も参加し中長期的視点で合同検討。
尚、状況次第で参加会社の変更、新規参加も柔軟に対応していく
- 各テーマに関してマイルストーンチャートを作成し(主担当企業を決め)、同チャートに基づき、今後のスケジュール管理、進捗状況をフォロー
- 更に検討を進める中で規制緩和、各種補助等、行政に依頼する要望事項の具体化を進める
- 今後、1-2ヶ月に1回の頻度で分科会を開催し、進捗状況をフォロー、必要に応じて分科会メンバー間でSmall meetingを適宜開催